

仙台市介護保険審議会
地域包括支援センター運営委員会

(第6期計画期間 第4回会議)

日時：平成28年2月10日(水)

午後6時30分～

場所：本庁舎2階 第3委員会室

次 第

1. 開会
2. 報告
 - (1) 平成28年度地域包括支援センター職員の配置について
 - (2) 地域包括支援センターの機能強化について
3. 議事
 - (1) 平成28年度の重点取組事項と委託の方針について (案)
4. その他
5. 閉会

資 料

○資料1 平成28年度地域包括支援センター職員の配置について

- ・参考資料1 地域包括支援センター人員基準について（参照条文）

○資料2 地域包括支援センターの機能強化について

- ・参考資料2 地域包括支援センター一覧（専任職員配置・職員体制）

○資料3 平成28年度の重点取組事項と委託の方針について（案）

- ・資料3-1 平成28年度地域包括支援センター業務水準表

**第 6 期仙台市介護保険審議会
地域包括支援センター運営委員会（第 4 回会議）議事録**

日時：平成 28 年 2 月 10 日（水）18：30～19：10

場所：仙台市役所本庁舎 2 階 第 3 委員会室

〈出席者〉

【委員】

井野一弘委員、駒井伸也委員、佐藤功子委員、鈴木峻委員、出口香委員、長野正裕委員、森高広委員、若生栄子委員以上 8 名、五十音順（大内修道委員欠席）

【仙台市職員】

會田保険高齢部長、下山田高齢企画課長、小林介護予防推進室長、宮野介護保険課長、川村介護予防推進室推進係長、阿部介護保険課管理係長、佐藤介護保険課指導第二係長、伊藤青葉区障害高齢課長、阿部宮城野区障害高齢課長、越前泉区障害高齢課高齢者支援係長

〈議事要旨〉

1 開会

会議公開の確認→異議なし

議事録署名委員については鈴木峻委員に依頼→鈴木峻委員了承

2 報告

- (1) 平成 28 年度地域包括支援センター職員の配置について
下山田高齢企画課長説明（資料 1、参考資料 1）

【質疑応答】

特になし

- (2) 地域包括支援センターの機能強化について
下山田高齢企画課長説明（資料 2、参考資料 2）

【質疑応答】

委員：参考資料 2 について、職員数の記載のないセンターは現在 3 名体制ということか。
事務局：センターには保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の 3 職種の配置をお願いしており、人数の記載がないセンターについては 3 名配置である。ただ、現状としてはケアプランの管理等も行っているもので、事務の方等含めもう少し職員はいる。

委員：27 年度に専任職員が配置されているセンターは現状で専任職員を入れた 3 名、

4名配置と記載があるセンターは専任職員を入れて4名ということか。

事務局：職員配置の欄に記載されている人数は、専任職員を含めていない人数である。27年度に既に専任職員を配置しているところについては、基本3名配置であるが、加えて専任職員が1名配置されているので、現在4名が配置されている。28年度に専任職員配置予定のところについては、今は3名配置であるが、28年度からは専任職員を加えた4名体制で機能強化を図っていきたい。

委員：センターは地域包括ケアシステムを構築するうえで、司令塔的な役割を果たす。3職種の方がそれぞれの専門性を生かしながら、お互い連絡を密にすることによって、増加していく相談にうまく対応していけるのではないか。現在2名体制のセンターが3名体制になるということは、利用者からの要望に対し、より行き届いた対応が可能となるのでとても良いことだと思う。

委員：資料2について、地域アセスメント及びネットワークづくりの課題、情報の整理・活用等、文言をみると簡単に記載されているが、細かいところで困難な部分がたくさんある。地域アセスメントとネットワークづくりが進んで初めて地域包括ケアシステムが機能すると考えられるので、うまく機能させることができるよう、各種団体や関係機関とのネットワークづくりに取り組んでいきたい。

委員：資料2について、専任職員の条件の1つとして、「生活支援コーディネーターとなること」とあるが、生活支援コーディネーターとは具体的にどのようなことをするのか。

事務局：1点目として地域の支え合い体制を構築するために、生活支援の担い手の養成やボランティア団体を発掘していくこと、2点目として地域の中でよりスムーズに高齢者を支えていく環境を整備していくために、地域の様々な方々の顔の見える関係作りを行うこと、3点目は地域支援のニーズとサービスの提供をうまくマッチングさせることである。

委員：実際に実行するとなると非常に難しいと思う。そのような点を今後配置される専任職員にどのように伝え、実行していくかということが課題になっていくと思う。

委員：資料2について、ネットワーク作りの現状として、「地域に出向く機会が増え、センターと地域の多様な期間・団体等との顔の見える関係づくりが進んでいる」とあるが、主にどのような団体とネットワークの構築を行っているのか。

事務局：民生委員、町内会、地区の社会福祉協議会、また、医師、歯科医師、薬剤師など地域内で地域を支えている方々がたくさんいる。そのような方々と会う機会を広げていきながら、その方々が横に繋がっていきけるような仕組みづくりに取り組んでいる。

3 議事

- (1) 平成28年度の重点取組事項と委託の方針について
下山田高齢企画課長説明（資料3、資料3-1）

【質疑応答】

委員：記載されている重点取組事項は地域包括ケアシステムの根幹をなすものなので、これに沿って取り組んでいきたい。平成28年度の地域包括支援センター業務水準表は重点取組事項に沿っているものであり、この方針で取り組んでいくのが望ましいと思うが、難しいことがたくさんある。細かい作業が今後機能していくのが課題になっていくと思うので、仙台市が指導をしながら進めていってほしい。

委員長：他に質問等なければ、「平成28年度の重点取組事項と委託の方針について」は以上でよろしいか。

(一同了承)

委員長：それでは、当議案を承認とする。

4 その他

特になし

5 閉会